

第 3 回 西尾市屋内温水プール整備検討委員会		
日時	令和 6 年 12 月 12 日（木）13 時 30 分～15 時 40 分	
場所	市役所 会議棟 2 階第 4 会議室	
資料	○次第 ○資料 1 第 2 回西尾市屋内温水プール整備検討委員会 事務局対応方針整理表 （別紙 1） 整備候補地評価の視点 （別紙 2） 想定利用者数・収入 ○資料 2 市民アンケート調査結果 ○資料 3 西尾市屋内温水プール整備基本構想（基本理念・コンセプト、導入機能・規模等） （別紙） 導入機能・規模について ○資料 4 今後のスケジュール	
出席者	■委員	
	所属・団体等	氏名
	名古屋市立大学教授 経済学研究科	中山 徳良
	副市長	近藤 芳英
	寺津小校区代表町内会長	稲垣 生夫
	福地南部小校区代表町内会長	杉浦 晶彦
	一色地区 町内会長代表	堂寄 和彦
	吉良地区 町内会長代表	杉山 生人
	水泳協会会長	柴田 隆司
	スポーツ推進委員会委員長	羽佐田 芳和
	西尾市 PTA 連絡協議会会長	高原 智博
	政策専門委員	杉戸 厚吉
	経営改革専門委員	楨野 孝和
	資産経営局長	本田 正浩
	交流共創部長	石川 孝次
	教育部長	齋藤 武雄
	■事務局	
	交流共創部スポーツ振興課長	高須 清和
	交流共創部スポーツ振興課主任主査	岩瀬 康伸
	交流共創部スポーツ振興課主事	杉浦 光哉
	交流共創部スポーツ振興課主事	高原 功弥
	■アドバイザー	
	株式会社建設技術研究所	畑森 翔紀
株式会社建設技術研究所	久湊 行起	
傍聴 0 名		

1 あいさつ

発言者	内容
事務局	ただいまから第3回西尾市屋内温水プール整備検討委員会を開会いたします。開会にあたり委員長からご挨拶をお願いいたします。
委員長	皆様、こんにちは。お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。第2回委員会では皆様から様々なご意見をいただきました。基本構想について完成に向けていくため、本日も皆様の忌憚のないご意見をいただければと思っています。
事務局	本日は、委員15名全員の方にご出席をいただいておりますので、委員会規則第6条第2項の規定に基づきまして、本日の委員会は成立しております。加えてもう一点、先日12月10日に、一色町の町内会長の代表の方から要望書が西尾市長に届きましたので、その内容についてご説明申し上げます。 （一色町町内会長から提出された要望書についての説明（-略-）） また、11月14日に行われました一色地区の「市長と語る市政懇談会」において、防災上の観点から、検討委員会に防災の専門家を入れないか、という意見がありました。事務局では、検討委員会に委員として参画していただくのではなく、近隣の津波一時退避所の設置状況や市の津波避難に関する考え方をお伝えしたうえで、専門家に意見を伺ってまいりたいと思います。 以上です。これからの議事進行につきましては委員長にお願い致します。

2 第2回検討委員会での主な意見とその対応及び民間事業者へのヒアリング調査結果報告

発言者	内容
委員長	初めに報告事項といたしまして、第2回検討委員会での主な意見と内容、および市民アンケート調査結果報告について、事務局より説明をお願い致します。
事務局	それでは、報告事項として前回第2回検討委員会の主な意見とその対応について説明いたします。 （第2回西尾市屋内温水プール整備検討委員会 事務局対応方針整理表（資料1）についての説明（-略-））
委員長	資料1別紙1について、整備候補地の評価について、各項目内の項目数も異なり、項目間のバランスが不均等と思われます。評価の中で重要視する点を評価することが望ましいと考えます。
委員	公共側の視点、民間側の視点を総合的に踏まえ、評価を行っていると思いますが、その中で生じるリスク（浸水区域）に対する対応策として、避難場所の確保等が必要だと考えます。
委員	「一色町役場跡地」が災害リスクを除き、優位な結果となっておりますが、リスク面については解決策を示すことでクリアできるものと考えます。
事務局	ご意見を踏まえ、整備候補地の評価の記載は修正いたします。なお、懸念される災害リスクに対する解決策として、近隣に避難所があることを確認してい

発言者	内容
	るため、その旨を記載することといたします。
委員長	資料 1 別紙 2 について、「吸引率」とはどういう意味でしょうか。
事務局	吸引率とは、施設の利用を想定する範囲内の人口に対して、どの程度の割合が利用するかを表す指標のことです。本検討では、ホワイトウェイブ 21 から自動車で 10 分の圏域に居住する人口に対し、ホワイトウェイブ 21 の年間利用実績に基づき設定しています。一人が年に複数回利用するというケースもあるため、100%を超える設定となっています。
委員	現状の吸引率は、人口と使用率という次元が異なる数値を一体の割合で設定していますが、特に地域の状況によって使用率は異なる要素であるため、人口と利用率で分けて算出した方がよいと考えます。
事務局	現在は概略検討のため、今後算出に必要なデータが入手できれば、検討することといたします。
委員	資料 1 別紙 1 の「5.法的制約条件」は現状、点数での評価項目としていませんが、「一色町開正地先」は農業振興地域のため、解除手続きのハードルがかなり高く、他の 2 つの候補地と比べ、事業ハードルが高いため、一色町役場跡地および B&G 海洋センタープール跡地を○、一色町開正地先を△として、点数をつけてもよいと考えます。
委員	項目ごとに重さが異なるため、必ずしも点数を記す必要はないと考えます。
委員	項目ごとの中で候補地を比較するのはよいと思いますが、項目を合計して点数化しまうと重要度が不明瞭になり理解が得られにくいと考えます。点数評価せず定性的に評価してもよいと思います。
委員	アンケート調査の自由意見では、一色地区にプール施設を整備することに関して反対意見もあることから、点数評価とした方がよいと考えます。
委員	学校利用の観点から、一色地区にプール施設を整備するという市の方針を前提とすべきであり、その上で 3 候補地の比較検討結果を記載すればよいと考えます。
事務局	ご意見を踏まえ、整備候補地の評価の仕方については事務局で検討いたします。
委員長	基本構想では候補地についてどの程度記載するのでしょうか。
事務局	比較検討の結果、最も優位な整備候補地を明記いたします。

3 市民アンケート調査結果報告について

発言者	内容
委員長	それでは次の議題に入ります。事務局より説明をお願い致します。
事務局	(市民アンケート調査結果報告(資料 2)についての説明(-略-))

発言者	内容
委員	アンケート調査の回答者の年齢構成を教えてください。
事務局	10代が1.1%、20代が9.1%、30代が10.9%、40代が14.8%、50代が16.5%、60代が18.3%、70代が20.3%、80代が9.1%です。
委員	50～70代の回答者の割合が比較的高いので、年齢別に回答を集計した方がよいと考えます。
委員	温水プールの継続的な利用に関する設問で、プールを利用しないと回答した人のうち「プール利用の習慣がない」と回答した人が74.4%と多くいました。プールの利用習慣のない人を除いた回答者が望む、プール種別やプログラムを知る必要があると考えます。
委員	アンケート回答者が居住する地区ごとで、利用したい施設がどのように異なるのか、整理するべきだと考えます。
委員	資料1別紙2について、利用料金収入を試算する際は、学校利用によって事業者が得られる収入も試算することが望ましいと考えます。さらに、スイミングスクールによる収入、会員制を導入した場合の収入試算もあるとよいと考えます。
委員	施設の維持管理費など、ランニングコストをふまえると、試算の収入では不足します。独立採算制の導入を目指すのであれば、収支検討を踏まえ、事業手法を検討するべきだと考えます。
事務局	ご意見を基に検討することといたします。

4 基本構想（案）について

発言者	内容
委員長	続きまして、基本構想（案）について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	（基本理念・コンセプト（資料3）についての説明（-略-）） なお、資料3別紙は今回配付しておりませんが、該当する内容を資料3のp.20に記載しております。
委員	各ニーズと対応方針の表現が混在している点について、見直するべきだと考えます。
委員	p.16～18、整備候補地の評価については、「一色町役場跡地」が最も適している旨を評価表の後に記載するべきだと考えます。
事務局	ご意見を踏まえ、修正いたします。
委員	p.19、基本理念・コンセプトについて、本施設は学校利用を主目的とするため、①と②の順番を入れ替える方がよいと考えます。
委員	p.20、導入機能・規模について、●（必須機能）と○（導入可能性の高い機能）の棲み分けについて明確にするべきだと考えます。 また、学校専用の更衣室を設けないとありますが、トレーニング室との同時利用を考慮した場合、動線区分の難しさが懸念されます。動線計画は今後の検

発言者	内容
	討とし、更衣室をまとめることについては基本構想の段階では結論付けなくてもよいと考えます。
事務局	「学校専用の更衣室を設けない」とはプール用の更衣室内での表現であって、トレーニング室用の更衣室は別途設ける想定です。また、プールの学校利用と一般利用は時間帯で分ける想定です。プール以外の機能を導入する場合は、動線区分の考え方を検討することとし、更衣室を分けるかどうかについては基本構想には記載しないことといたします。
委員	学校利用に関して、一般利用と利用時間帯が分かれていれば、プール更衣室を併用することは問題ないと考えます。ただ、トレーニング室等を導入し、学校利用と同じ時間帯に併用する場合は、施設の出入り口からの動線区分は必要だと考えます。
委員	民間事業者が運営するトレーニング室等を導入する場合は、採算の関係上、プールの学校利用時もトレーニング室を利用することが見込まれるので、プールとトレーニング室で更衣室を分けることが必要であると考えます。
委員	トレーニング施設等は民活手法を導入した場合に、民間の意向に応じた場合に限り導入を検討するのでしょうか。検討を踏まえて、p.20、導入機能・規模は修正するべきと考えます。また「民間事業者のニーズにより、設置・規模を判断する」との表現は見直すべきだと考えます。
委員	「西尾市スポーツまちづくりビジョン」の中で元々プール機能のみで想定していた施設面積は 1,700 m ² でしたが、アンケート結果等を踏まえ 3,000 m ² まで増えています。予算上の制約にも配慮が必要であると考えます。
委員	市の状況を踏まえると、民間ニーズによる機能導入に関しては、市の立場として必須の機能と、提案による機能に分けて整理するべきだと考えます。
委員	民間のノウハウが必要なものは△、事業費次第で導入を検討するものは○にして整理し直した方がよいと考えます。
委員	プールでの競技を行うために、着脱式のスタート台を設置すると説明がありましたが、資料上でも示すべきだと考えます。また、現在の水深でも競技利用は出来るのでしょうか。
事務局	日本水泳連盟のガイドラインによると、公認プールでは水深 1.35m が必要ですが、水深 1.2m 程度でもスタート台の高さを変更することで、競技自体は実施可能です。
委員	お見込みの通りです。ただし、競技者の技量によっては、けが等のリスクがあります。
委員	学校利用の際、送迎バスから下車後すぐに施設内に入れる計画が望ましいと考えます。動線の考え方を整理するべきだと考えます。
委員長	西知多医療広域組合のアクアマリンプラザは一般利用と学校利用とで入口が別になっていますが、動線計画に関しては民間事業者に委ねるとして問題ない

発言者	内容
	と考えます。
委員	最低限の面積と最大限の面積を双方示し、それぞれのレイアウトを示すべきだと考えます。
委員	施設面積を 3,000 m ² としても、駐車場の面積は十分確保できるのでしょうか。
事務局	アンケート調査から想定される車利用者から必要な駐車場の面積を試算し、敷地面積に対して、計算上は問題ないと考えています。
委員	施設面積 3,000 m ² としても、バスの駐車スペースやロータリースペースが確保できるかどうか、検証するべきだと考えます。
委員	現状の記載では施設面積を 3,000 m ² とすることが前提として捉えられかねないため、ご指摘の通り、施設面積に関しては 3,000 m ² が上限ということを明記するべきだと考えます。
事務局	施設面積については、誤解を招かないような記載にいたします
委員	p. 19、低学年～高学年の体格差に配慮した水深の確保とありますが、実際に水深を分けるのが望ましいと考えます。しかし、コスト面の制約もあるので、水深調整用の設備（プールフロア等）での対応も含めた記載にするべきだと考えます。
委員	学校教育に関する記載が抜けているように感じるので、その内容を示すべきだと考えます。
事務局	基本構想の前提条件には記載しているため、その内容を踏まえ、課題の中で示すことと致します。
委員	p. 29、PFI 手法がかなり有意な表現に読めるため、双方のメリット・デメリットを整理した方がよいと考えます。
委員	p. 19、本事業は学校利用を主目的とした事業であるので、学校利用に関するコンセプトを一番上にすることが望ましいと考えます。また、学校利用に係る経費は必要経費とするべきであり、学校利用で必須となる機能と、導入することで施設の利便性の向上が見込まれる機能を分けて整理することが望ましいと考えます。
委員	今後、アクアマリンプラザの施設等の状況を踏まえた検討を行う予定でしょうか。
事務局	お見込みの通りです。
委員	事業費は単価のみを提示するのでしょうか。
事務局	今回は単価のみですが、総事業費の提示も含め、検討するべきだと考えています。
委員	今後、計画内容も変わる可能性もあるため、概算事業費は必ずしも示す必要はないと考えます。

5 今後のスケジュールについて

発言者	内容
委員長	これで全て終了致しました。皆様ご協力ありがとうございました。では進行を事務局の方にお返しいたします。
事務局	長時間にわたり熱心にご審議いただきありがとうございました。先ほどご説明がありました通り、第4回検討委員会は令和7年1月21日に開催をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは以上をもちまして第3回屋内温水プール整備検討委員会を閉会いたします。